

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 中谷 友和

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 (1)「職務の理解」から(9)「こことからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 四肢択一問題、穴埋め問題、記述式問題とする。</p> <p>3 出題数 四肢択一問題、20問（配点3点） 計60点 語群選択問題、5問(各問に設問が4つ、計20の設問・配点2点) 計40点 全問正解の場合、合計100点</p> <p>4 合否判定基準 60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。 補習料：1時間あたり2,000円 再評価料3,000円</li><li>再試験を最大2回まで実施する。 再試験の結果、不合格であった者には、さらに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。 補習料：1時間あたり2,000円 再評価料3,000円</li></ul>
------------	---